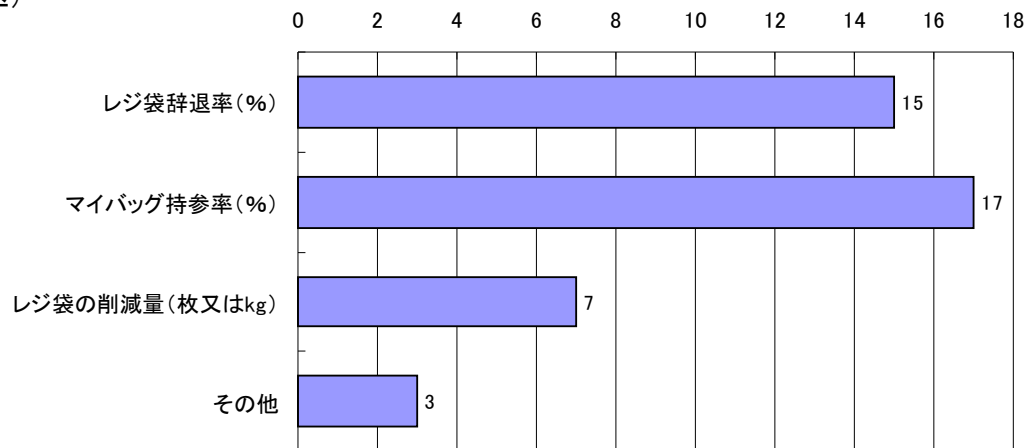


(8) マイバック持参率、レジ袋持参率を評価項目と設定している自治体が多数となる。

- 評価項目に「レジ袋辞退率」を用いているが15自治体、「マイバック持参率」を用いているが17自治体、「レジ袋の削減量」を用いているが7自治体となっている。
- また、その他の評価項目として石油資源の消費抑制量、CO2削減量等が挙げられた。

図36 取組の評価項目(平成22年2月1日時点、回答27政令市・中核市・特別区)



※ 当設問に対し回答のあった27自治体を対象に集計
※ 当設問はマルチアンサー形式

- レジ袋辞退率に関しては60%(名古屋市)、70%(豊田市、岡崎市)、80%(函館市、いわき市、金沢市、岐阜市、姫路市、下関市)を設定している事例が見られた。
- マイバック持参率に関しては50%(福岡市、熊本市)、60%(杉並区)、80%(函館市、いわき市、姫路市、大分市)、90%(浜松市、神戸市)を設定している事例が見られた。